

日本消防



- 平成27年度地震等防災対策委員会現地(広島県広島市)調査
- ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」好評放送中

□ 絵 平成27年度地震等防災対策委員会現地調査 平成27年7月7日(火) 於 広島県広島市
ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」好評放送中

巻頭言 「地域を守る防災リーダーとして」	（公財）宮城県消防協会 会長 平渡 高志	1
日消の動き 「少年消防クラブ、少年消防団への注目」	（公財）日本消防協会 会長 秋本 敏文	3
平成27年度消防功労者総務大臣表彰	総務省消防庁	4
団員増加消防団に総務大臣感謝状	総務省消防庁	5
団員増加表彰消防団の意見交換会	（公財）日本消防協会	7
平成27年度地震等防災対策委員会現地（広島県広島市）調査報告	（公財）日本消防協会	8
ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」出演者紹介	（公財）日本消防協会	10
特別表彰まといを受章して「防災意識の高いまちを育てるために」		
石川県かほく市消防団 団長 西山 昇		14
徳島県「安全・安心のため」 吉野川市消防団 団長 米谷 規博		16
山形県「消防団の新たな力」 新庄市消防団 団長 浅井 一男		18
福井県「「地域防災の要」として」 南越前消防団 団長 谷口 栄助		20
高知県「「町民の生命と財産を守るため」地域を守る消防団」 佐川町消防団 団長 横畠 和夫		22
秋田県「女性消防団私たちの活動日誌 ーポイ捨て禁止ですよー」 仙北市消防団 女性消防団員 班長 西宮 三春		24
住警器 早めの交換を！ 滋賀県草津市消防団		26
平日昼間の地域防災力を強化 宗像市消防団 市役所・県総合庁舎合同分団 設立 福岡県宗像市消防団		28
「第11回小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」文部科学大臣賞受賞 北海道札幌南区川沿少年消防クラブ		31
福祉共済の健康増進事業「消防団健康セミナー」を実施 （公財）日本消防協会		34
平成27年度消防育英会奨学生懇談会を開催 （公財）消防育英会		35
スマホを活用した災害応急活動支援システム「多助」について （一財）消防科学総合センター		37
防災訓練に参加しましょう 総務省消防庁防災課		40
地震に対する日常の備え 総務省消防庁防災課		41
全国消防技術者会議の開催について 総務省消防庁消防研究センター		42
第22回全国女性消防操法大会記念Tシャツの販売 （公財）日本消防協会		43
うちの名物団員		44
消防団の広場（大阪府）「まちを守る意気込み。伝統を引き継ぐ消防団。」 豊能町消防団・ポンプ操法訓練をとおして 豊能町消防団 団長 東浦 正純		46

編集後記

表紙写真説明

「カイフポイント」

徳島県海陽町を流れる海部川。環境省の調査で、全国で最も水がきれいな川36河川の1つに認定されています。海部川河口部は日本有数のサーフポイントとして、各地から多くのサーファーたちが集まります。

（徳島県海陽町）

平成27年度地震等対策委員会現地調査

平成27年7月7日(火) 於 広島県広島市



ラジオ番組
「おはよう！ニッポン全国消防団」
好評放送中！

(公財)日本消防協会



平成 27 年
5 月放送分に出演の
西郷輝彦さん

平成 27 年
6 月放送分に出演の
浅香 唯さん



平成 27 年
7 月放送分に出演の
柏原芳恵さん



「地域を守る防災リーダーとして」

(公財)宮城県消防協会 会長 平渡 高志



このたび、平成27年5月26日付けをもちまして宮城県消防協会長に就任いたしました。改めて、重責に身が引き締まる思いでございます。

宮城県は、35市町村(13市・21町・1村)で構成されており、平成27年3月末の人口は230万人余りとなっております。日本の首都東京から約350km北東、東北地方の中心に位置しており、東は太平洋に面し、豊かな漁場と日本三景の一つ松島をはじめとする風光明媚な観光地に恵まれています。西には蔵王・船形・栗駒などの山々が連なり四季折々の姿を見せ、県内には有数の穀倉地、仙台平野、大崎平野が広がります。このように海・山・川・平野が調和した自然環境が豊かで、暮らしやすい地域であります。

宮城県消防協会は、昭和23年3月に財団法人としてスタートして以来、長きにわたり防火思想の普及啓発など、消防活動の強化に努めてまいりました。現在、42消防団、12消防(局)本部で約24,000名の消防団員・消防職員が郷土愛の崇高な精神のもとで、住民の安心・安全に日夜懸命に尽力しているところです。

近年では、女性消防団員も増加しており、地域内外において、消防団の活動の場が広がっております。また、防災に関する知識や技術を習得し、住民の皆さんの生命や財

産を守るため活動しております。

さて、本県は、平成23年3月11日、日本国内地震観測史上最大規模マグニチュード9.0を観測した東日本大震災において未曾有の被害を受けました。死者15,892人、行方不明者2,576名(平成27年6月10日現在警察庁発表)となっており、未だに行方不明者の捜索が行われるなど、4年以上経過した今なお捜索活動が行われております。

県内沿岸部においては、未だに仮設住宅での生活を余儀なくされ、不便な生活を続けておられる方々も数多く、一日も早く全員が仮設住宅での生活から離れられるよう願っております。

震災による東京電力福島第一原子力発電所の事故により、大量に発生した放射性廃棄物の処理等についても本県においては重大な問題であります。

また、東日本大震災では84名の消防団員、職員が殉職するなど、多くの仲間を失いながらも消防人としての使命感と受け止め、消防団活動に日々邁進して参りましたが、東日本大震災以降の消防団員減少率が全国最多となっており、団員確保が目下の課題となっております。

しかしながら、震災により沿岸部を中心とした被災地から若者が転出していること、また、地元から離れた地域で働く若者の増加により現在、直接の消防団員の成り手が

不足していることなど、震災による影響が大きな要因と思われます。

このような中、消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律が平成25年12月に公布・施行され、総務省消防庁では平成26年2月、消防団の装備の基準及び消防団員服制基準の改正が行われました。

東日本大震災において、多数の消防団員が犠牲になったことなどを踏まえ、消防団員の安全確保のための装備の充実や、情報収集・共有・発信機能の強化、他機関との連携の円滑化に資する携帯用無線機等の整備、大規模災害時に対応する救助活動用資機材の充実に重点がおかれたほか、消防団員の活動の際の活動服の機能性及びデザイン性の向上を図り、消防団員の士気向上等に資することとして、形式の変更が行われております。

このように、消防団員の安全策等を考慮しつつ、災害時に中心となって活躍する消防団員の安全に最大限配慮することが重要となっております。

近年は、全国的に地震や竜巻、豪雨、噴火など、これまでの考え方を見直さなければならないような自然災害が多発しております。中でも、大雨による水害が連続的に発生しており、特に、大雨に起因した洪水のみならず、土砂災害など、直接人命にかかわる被害が連続しております。

災害による被害をできるだけ少なくするためには、一人一人が自ら取り組む「自助」、地域や身近にいる人同士が助け合って取り組む「共助」、国や地方公共団体などが取り組む「公助」が重要だと言われております。その中でも基本となるのは「自助」であり、一人一人が自分の身の安全を守ることで

す。

特に災害が発生したときは、まず、自分が無事であることが最も重要です。「自助」に取り組むためには、日ごろから、災害に備え、自分の家の安全対策をしておくとともに、家の外において地震や津波などに遭遇したときの、身の安全の守り方を知っておくことが必要です。また、身の安全を確保し、生き延びていくためには、水や食料などの備えをしておくことも必要です。災害が発生してから考えるのではなく、災害が発生した際に自分はどうすべきかを日ごろから考えることが我々一人一人にできる一番身近な防災対策となります。防災対策には、十分とか絶対大丈夫というものはありません。一人一人が、自分の周りにどのような災害の危険が及ぶのかを考え、その被害をできるだけ少なくするために必要な対策を講じることが重要です。

そのような中で、火災のみならず防災に精通した消防団員が皆様の地域において日ごろから火災の予防や地域住民への声かけ、啓発を行うなどすることで、消防団員と地域住民とが連携し、災害への備えを普段から話し合い、地域内での情報を共有し訓練を行うことが重要と考えます。

このように、災害時において、地域で最も重要な役割を担っている消防団でありますので、地域の身近な防災リーダーとして消防団員が中心となり、地域住民と一体となって地域を守ることを実践して参りたいと思います。

今後は、消防団員の安全対策の充実強化に努めるとともに、消防団の尚一層の発展に微力ながら尽力して参ります。

少年消防クラブ、少年消防団への注目

(公財)日本消防協会 会長 秋本 敏文

全国に約 5,000 クラブ、40 万人以上のメンバーがいる少年消防クラブの一層の活性化は、将来の地域防災の担い手づくりなどで重要と考えられますので、これまでもいろいろ支援してきました。近年、それが新たな形で具体化したのは、6 年前、チェコのアストラバという地方都市で開催された CTIF（ヨーロッパ各国を中心とする国際消防救助組織。現在は日消も参加）主催の青少年消防オリンピックへの我が国少年消防クラブメンバー 20 人の派遣に始まったといっただけでしょう。

この大会は、各国対抗の競技と各国参加者の交流イベントからなるものですが、競技のひとつである 400m リレーでは、バトンは筒先、ホースや消火器をもって走る区間があるなど消防の動作を取り入れています。交流イベントでは各国自慢の歌、踊りなどを披露します。こうして競い、仲良くなります。

6 年前の初めての参加は、ひとりひとりの一生の思い出になっただけでなく、消防関係の人たちにも見て頂き、応援して頂いて、この経験をいかしてもっと少年消防クラブを応援することにしようという空気の盛り上がりにつながることができました。

そこで帰国後、消防庁、文部科学省や日消、日本防火協会（当時）、全消長会、消防関係有識者のご参加による少年消防クラブ活性化推進会議を設立し、88 のモデル少年消防クラブの指定、モデルクラブへの集中的支援、「少年消防クラブニュース」の創刊などをしました。こうした動きが全国交流会の開催（平成 27 年 8 月、徳島県）に発展しています。

そのようななか、今年 7 月、ポーランドで開催のヨーロッパ青少年消防オリンピックに、少年少女 20 人を久し振りに派遣しました。その様子はここでは省略しますが、とに角、お世話役の皆さんのがんばりもあって、全員無事、ひとりひとりが大活躍、大健闘の大きな貴重な体験と強い思い出をもって帰国しました。その成果は、大会の状況の情報提供などを通じて大いにいかなければなりません。私は、この少年消防クラブは、少年消防団と言ってもいいのではないかと考えていますが、少年少女の皆さんには、消防実践体験に近い活動に興味をもっている人が多いようですので、既に各地でやっておられますが、消防団の皆さんにもできるだけご指導頂くようお願いしたいと思います。少年消防クラブの活発化は、直接には消防団員の確保につながるでしょうし、もっと大きな眼で見ますと、将来の安心安全な、暮らしやすい地域づくりや充実した豊かな人生につながるでしょう。よろしく申し上げます。

平成27年度消防功労者総務大臣表彰

総務省消防庁

平成27年7月6日(月)スクワール麹町において消防功労者総務大臣表彰が行われました。消防功労者総務大臣表彰は、「国民の生命、身体、財産を災害から防護するため、郷土愛護の精神に基づき、消防活動、火災予防思想の普及等に献身的に尽力している消防団員及び婦人(女性)防火クラブ員の士気高揚を図る」という目的で行っているものです。

○消防功労者総務大臣表彰受賞者

【消防団員7名】

- ・山崎正昭 (北海道・胆振東部消防組合穂別消防団 団長)
- ・大湊一郎 (青森県・野辺地町消防団 団長)
- ・金見一雄 (青森県・七戸町消防団 団長)
- ・石田隆義 (愛知県・あま市消防団 団長)
- ・松島昇 (三重県・津市消防団 団長)
- ・墜山裕昭 (兵庫県・佐用町消防団 副団長)
- ・浄慶康治 (兵庫県・養父市消防団 団長)

【婦人(女性)防火クラブ員2名】

- ・関澤美保子 (富山県婦人防火クラブ連絡協議会 会長)
- ・中野美和 (高知県女性防火クラブ連絡協議会 会長)



団員増加消防団に総務大臣感謝状

総務省消防庁

平成27年7月15日（水）総務省において総務大臣感謝状贈呈式が行われました。

今回は、平成27年4月1日現在の消防団員数の速報値を基に消防団員が相当数増加した消防団、増加率及び増加数が相当である消防団並びに女性団員の入団が多かった消防団に対して感謝状が贈呈されました。



◇感謝状贈呈団体(22団体)

- | | | | |
|----------|-------|----------|-------|
| ○三種町消防団 | (秋田県) | ○新庄市消防団 | (山形県) |
| ○龍ヶ崎市消防団 | (茨城県) | ○千葉市消防団 | (千葉県) |
| ○南魚沼市消防団 | (新潟県) | ○関川村消防団 | (新潟県) |
| ○魚津市消防団 | (富山県) | ○山ノ内町消防団 | (長野県) |
| ○関市消防団 | (岐阜県) | ○中津川市消防団 | (岐阜県) |
| ○羽島市消防団 | (岐阜県) | ○豊田市消防団 | (愛知県) |
| ○知立市消防団 | (愛知県) | ○津市消防団 | (三重県) |
| ○大津市消防団 | (滋賀県) | ○淡路市消防団 | (兵庫県) |
| ○黒滝村消防団 | (奈良県) | ○尾道市消防団 | (広島県) |
| ○高松市消防団 | (香川県) | ○八女市消防団 | (福岡県) |
| ○熊本市消防団 | (熊本県) | ○高森町消防団 | (熊本県) |



【資料】

消防団員数速報値(平成27年4月1日現在)

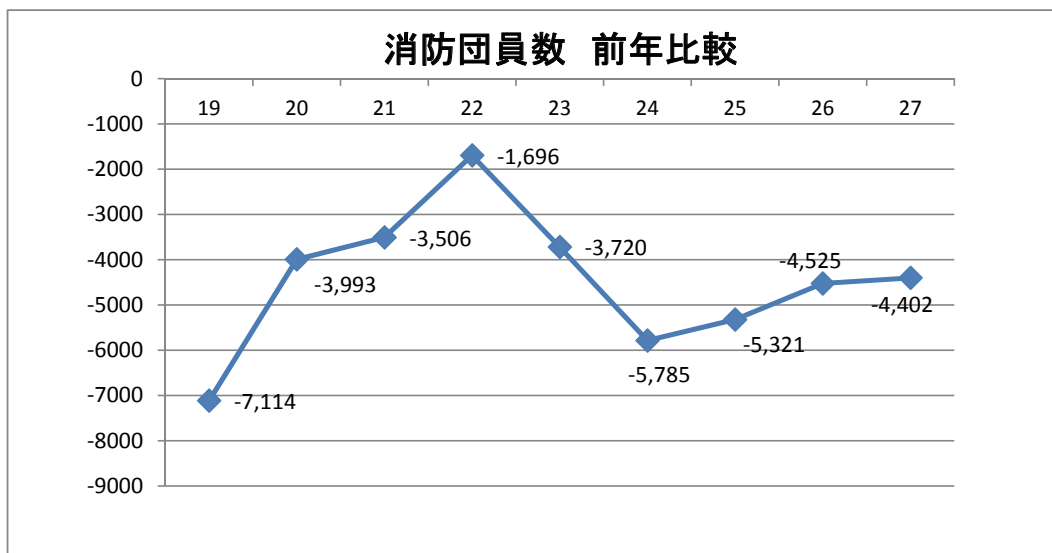
消防団員数：859,945人

前年度比：4,402人減少

消防団員数等(速報)

		H27. 4. 1 (速報値)	H26. 4. 1	増減
消防団員数		859,945	864,347	▲ 4,402
性別	男性	837,216	842,663	▲ 5,447
	女性	22,729	21,684	1,045
(参考)	国家公務員	2,784	2,873	▲ 89
	地方公務員	62,883	61,428	1,455
	郵政	6,129	5,728	401
	学生	2,950	2,725	225

消防団員数前年比較



※東日本大震災の影響により、平成23年の岩手県、宮城県及び福島県のデータについては、前年数値(平成22年4月1日)により集計している。



【連絡先】

総務省 消防庁 国民保護・防災部地域防災室

担当：猪鼻、高村 電話 03-5253-7561(直通)

団員増加表彰消防団の意見交換会

(公財)日本消防協会

平成27年7月15日(水)、日本消防会館において、(公財)日本消防協会の主催で総務大臣感謝状受領団体意見交換会を開催しました。

今回の意見交換会では、千葉市消防団、八女市消防団、熊本市消防団の3団体が代表してそれぞれの取り組みを発表、引き続き出席者による意見交換が活発に行われました。

【次第】

- 1 主催者挨拶 (公財)日本消防協会会長 秋本敏文
- 2 記念品贈呈
- 3 来賓挨拶 古屋圭司衆議院議員(前内閣府特命担当大臣(防災))
- 4 意見交換 発表:千葉市消防団、八女市消防団、熊本市消防団
- 5 閉会挨拶 (公財)日本消防協会副会長 石橋 毅



受賞団体(日本消防会館屋上 全国消防殉職者慰霊碑前にて撮影)

平成27年度地震等防災対策委員会 現地調査(広島県広島市)報告

(公財)日本消防協会

平成27年7月7日、地震等防災対策委員会を広島県広島市で開催いたしました。

当委員会は、地震災害等に対処するための備蓄資器材、地震災害時における住民保護対策及び防災教育の普及等について、調査研究することを目的としております。

昨年8月広島市は、豪雨による土砂災害で、甚大な被害を受けました。同様の災害が地震等でも想定されることから、いまだ復旧復興活動が続いている中ではありましたが、広島市消防局をはじめ広島県消防協会のご協力をいただきながら調査を実施しました。

1 日 時

平成27年7月7日(火) 14:00～17:30

2 場 所

- (1) 現地調査(14:00～15:30)
広島市安佐南地区の土石流現場等
- (2) 地震等防災対策委員会(16:00～17:30)
ホテルセンチュリー21広島

3 現地調査概要

平成26年8月19日から翌20日にかけて大雨により、広島市は未曾有の豪雨に見舞われました。安佐南区及び安佐北区のいたる所で土石流が発生し、多くの人命が失われました。

本調査は、その被害状況を確認するために、安佐南区八木地区の現地調査を行いました。

(1) 被害状況

広島市で発生した土砂災害は、8月19日19時から8月20日5時までの時間帯を中心に断続的に発生した大雨によるものであり、安佐南区及び安佐北区上空では、20日1時40分頃から雨が降り始め、通過する雨雲により、2時から4時までのわずか2時間に200mmを超える猛烈な雨が降り続けました。

この猛烈な雨に伴って、山裾や谷間に位置する地区では、大量の雨水排水が下水や側溝をあふれ、急勾配の狭隘な道路は川のような状態となり、また、土石流の発生に伴って、谷筋に設けられた道路の多くは、大量の岩石や土砂の流路となりました。

広島市における建物(住家)被害は、全壊179棟、半壊217棟を含む4,749棟、死者74人、負傷者69人の人的被害をうけました。

(2) 安佐南地区の土石流現場(説明者:広島市安佐南消防署 金川署長)

安佐南地区(八木地区、緑井地区)は、阿武山、権現山の扇状地住宅が形成されている地区で、特に八木三丁目は今回の被害で最も大きな被害が発生した地区で、災害による死者74人のうち、41人がこの地区の住民でした。

同地区では、2時間以上にわたって猛烈な雨が降り続く中、土石流が繰り返し発生し、谷の出口に造成された住宅地、県営住宅周辺、それより下流の住宅地に甚大な被害が発生したものです。

土石流発生流域は大きく3溪流に分かれており、少なくとも3回の土石流があったものです。



安佐南区八木地区での現地調査

消防団の活動は、広島県内の8消防団が応援に駆け付け延べ4,800人を超える消防団員が活動し、人命検索活動等を実施しました。

発災当初は、重機が入れず、マンパワーによる活動となり、団員の疲労は日々蓄積し困難を極めたものの、消防局をはじめ緊急消防援助隊や自衛隊、警察などの関係機関とともに、急斜面での検索活動や破壊された建物内の検索活動、瓦礫や流木の除去を行いました。

また、避難所生活を少しでも快適に過ごすことができるように、避難所の消毒、床拭きやトイレ掃除等、幅広くきめ細やかな活動を女性消防団員が主体となって実施しました。



八木地区を襲った土石流



黙とう

4 委員会の概要

- (1) 副委員長の選出について
- (2) 平成26年8月20日 豪雨災害

講師 広島市消防局西消防署 署長 水落 勝 氏(災害発生時、消防局警防課長)



秋本会長あいさつ



講師による説明

【講義内容】

- ・ 災害概要
- ・ 危機管理体制
- ・ 活動状況
- ・ 全国からの応援
- ・ 検証
- ・ 応急復旧
- ・ 被災者支援
- ・ 復興



ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」 出演者紹介

(公財)日本消防協会

日本消防協会では、芸能界、スポーツ界等の著名な方々により結成された「消防応援団」のご協力を得て、全国各地で頑張っている消防団員にエールを送るとともに、一般の方々にも消防団活動等について理解を深めてもらうため、消防団に関するラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」を放送しています。

今回は、平成27年5月から平成27年7月までに放送した出演者を紹介します。



5月2日又は5月3日放送



鹿児島県鹿児島市
消防団 団員
田之畑 明美さん

先日、56歳の誕生日を迎え、まさかこの歳で消防団活動に携わるなんて思いもありませんでした。人生いくつになっても挑戦、まだまだがんばります。

5月16日又は5月17日放送



新潟県五泉市
消防団 分団長
白井 妙子さん

ラジオ番組に出演させていただき、ありがとうございました。これを励みにして、消防団員として更に地域貢献できるよう活発に活動していきたいと思っております。

5月30日又は5月31日放送



徳島県東みよし町消防団
副団長 河野 良雄さん

歌手の西郷輝彦さんに「笑顔のふるさと築くため～消防団を讃える歌～」を聞いて頂き、一生の記念になりました。有難うございました。今後も団長として、地域の安全安心を守るため、誠心誠意努力していきたいと思っております。

平成27年5月放送分に
出演の消防応援団
西郷輝彦さん

5月9日又は5月10日放送



神奈川県座間市
消防団 部長
高波 貴志さん

この度は、貴重な経験をさせて頂きありがとうございます。我々消防団の活動、そして座間市を全国の皆さんへ発信することが出来、大変うれしく思います。今後も、郷土愛の精神を忘れず、出来ることを出来る限り頑張りたいと思っております。We Love Zama

5月23日又は5月24日放送



石川県白山市
南消防団 副団長
寺岸 篤さん

子供の頃から憧れの西郷さんとお話ができ、緊張と感激でした。団の融和と地域の安全、そして女性分団設立に向けて頑張ります。

平成27年6月放送分に
出演の消防応援団
浅香 唯さん



6月6日又は6月7日放送



宮崎県川南町消防団
団長 網代 宗章さん

東日本大震災以降、防災に対する意識は確実に変化しています。自分たちの町は自分で守る、地元防災にみんなで取り組んでいきましょう。

6月13日又は6月14日放送



秋田県由利本荘市消防団
班長 佐藤 美子さん

お二人の素敵なお声を耳にした瞬間から、楽しかったです。
そして、「唯チャンパワー！」を頂きました。もっと頑張れそうです。
有り難うございました。

6月20日又は6月21日放送



三重県四日市市消防団
部長 亀田 京子さん

スケバン刑事の頃からのファンで、まさか直接話せるなんて夢のようです。
消防団活動を通してお会い出来たら嬉しいです。

6月27日又は6月28日放送



京都府京丹波町消防団
副分団長 片山 健さん

収録、本当に緊張しました～！でも、中学生の時代からファンでした浅香唯さんとお話できたことは、宝物です！これからも消防団として、みんなでふるさとを守り続けていきます。

平成27年7月放送分に出演の消防応援団
柏原芳恵さん



7月4日又は7月5日放送



大阪府泉南市消防団
分団長 田所 亜弓さん

緊張しましたが良い経験ができました。ありがとうございました。
これからも女性消防団が盛り上がるよう活動したいです。

7月11日又は7月12日放送



山形県鶴岡市消防団
団長 伊藤 俊昭さん

大変緊張したラジオ出演でしたが、柏原芳恵さんと山本アナウンサーから助けていただき、楽しくお話することができました。これからもよろしくお願いたします。

7月18日又は7月19日放送



鳥取県倉吉市消防団
班長 福井 隆彦さん

改めて自分の町の安心、安全の為に活動したい強い気持ちを言葉として表せた事に嬉しく思います。今後も地域の為に頑張ります。

7月25日又は7月26日放送



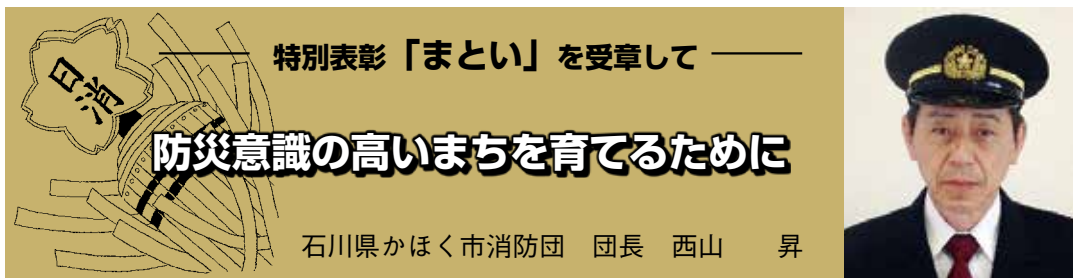
大分県佐伯市消防団
団員 岩尾 俊輝さん

ラジオに出演させていただきありがとうございました。
地域を守るヒーローとして私たちの活動により子供達も火災予防に関心を持ってくれるようにこれからも頑張ります。キコレンジャーをよろしくお願いたします。
～キコブルーより～

おはよう！ニッポン全国消防団 各局放送時間

平成27年4月以降

放送局	放送曜日	放送時間	放送局	放送曜日	放送時間
(株)STVラジオ	日	5:50～6:00	(株)和歌山放送	土	6:30～6:40
青森放送(株)	日	7:20～7:30	(株)山陰放送	日	8:15～8:25
(株)IBC岩手放送	日	6:15～6:25	(株)中国放送	日	5:30～5:40
東北放送(株)	土	5:00～5:10	山口放送(株)	土	6:45～6:55
(株)秋田放送	日	6:15～6:25	四国放送(株)	土	6:40～6:50
山形放送(株)	日	6:20～6:30	西日本放送(株)	土	7:35～7:45
(株)ラジオ福島	土	5:40～5:50	南海放送(株)	日	6:55～7:05
(株)ニッポン放送	日	6:15～6:25	(株)高知放送	日	6:40～6:50
(株)新潟放送	日	7:40～7:50	九州朝日放送(株)	日	6:15～6:25
信越放送(株)	日	6:50～7:00	長崎放送(株)	土	7:25～7:35
北日本放送(株)	日	6:10～6:20	(株)熊本放送	土	5:30～5:40
北陸放送(株)	日	7:40～7:50	(株)大分放送	日	6:45～6:55
福井放送(株)	日	6:10～6:20	(株)宮崎放送	日	6:20～6:30
東海ラジオ放送(株)	日	6:00～6:10	(株)南日本放送	土	7:20～7:30
大阪放送(株)	土	6:45～6:55	(株)ラジオ沖縄	日	6:35～6:45



1 はじめに

平成27年3月10日に開催された「第67回日本消防協会定例表彰式」におきまして、消防団にとって最も名誉のある特別表彰「まとい」を受章いたしました。全国に2000以上ある消防団の中から、かほく市消防団がこのような名誉ある表彰を頂くことが出来たのは大変喜ばしいことであります。これまで、消防団の前身である消防組から今日のかほく市消防団までの礎を築いてきてくださった、諸先輩方の功績はもとより、日々消防活動に尽力される団員の皆様、そして団員のご家族、地域の皆様、関係機関のご支援や良き理解といった多くのご協力によるものと重ねて深く感謝を申し上げます。

去る3月29日には引退された消防団員の方々を招いた「まとい」披露会を行い、感謝の意を伝えることが出来ました。



まとい受章市長報告

2 かほく市について

かほく市は、石川県のほぼ中央に位置し、市の西側には美しい夕日が沈む日本海を望

み、北部にはぶどう栽培を中心とした砂丘地農業、南部には潟特有の生態系を営む河北潟があり、水と緑に恵まれた豊かな自然環境を持っています。また、歴史や教育の面からも注目を浴びる街であり、石川県西田幾多郎記念哲学館、石川県立看護大学など、石川県の重要な施設が点在しています。

3 消防団の組織

明治30年に消防団の前身となる消防組が旧高松町に発足し、その後、旧宇ノ気町、旧七塚町でも発足、平成16年の市町村合併に伴い、かほく市消防団となりました。平成18年に新たに1分団を増設し、現在、かほく市消防団、9分団、190名で活動しています。ポンプ車9台及び、各種災害対応資機材を有し、地域の『緑の下の力持ち』を目指し、火災のみならず、風水害、行方不明者捜索に対しても活動にあたり、地域住民の生命・財産を守る為に団員が一丸となり日々頑張っております。

4 消防団の活動

毎月2回、夜間に管轄地区を巡回し、火災に対する警戒を行っています。

春と秋の火災予防運動期間中の大規模な火災を想定した火災防ぎょ訓練では、消防本部と合同で実災害でも連携の取れた活動が行えるよう訓練を行っています。

藩政期に、高松地区で起こった大火から

防火意識を忘れない為に現在も続いている鎮火祈願祭、毎年多くの市民に参加いただいている防火イベントの鎮火フェスタ、各町内会で行われる自主防災訓練では、管轄する分団が参加し、市民に対して積極的に指導に当たっています。また、毎年行われている市の防災訓練では、消火訓練、傷病者搬送の指導に当たるとともに、地震での建物の倒壊を想定し、所有するチェーンソーや、身近にあるものを使用した倒壊家屋からの救出訓練も行っています。

団歴の浅い団員に対して、ポンプ車の運用や、各種資機材の取り扱いについての団員講習を行い、団員一人ひとりの技術の向上にも努めています。平成25年8月にはかほく市で観測史上最大の豪雨に見舞われ、市内の至る所で冠水が発生しました。これまでに経験したことがない災害でしたが、多くの団員が迅速に参集し、水防活動にあたった事で、冠水箇所付近での住宅への浸水などを防ぐことが出来ました。

そして毎年隣接する1市2町で行われる、河北郡市消防団連合訓練や石川県消防操法大会へ向けて、日々訓練に当たっております。平成24年には高松第二分団が消防団発足以来初めての全国消防操法大会への出場を果たし、優良賞を手にすることができました。再度かほく市消防団が全国大会への出場を目指すべく、すべての分団が士気を高め訓練に取り組んでいます。



全国消防操法大会の様子

5 頻発する自然災害への対応力向上を目指し

近年、大雨や強風による災害規模の拡大、大きな地震が頻発するようになってきています。これまでかほく市は甚大な被害が出るような災害に見舞われることなく今日を迎えています。しかし、いつ昨年8月に発生した広島土砂崩れや、11月の長野県北部地震のような災害が発生するかわかりません。そのような災害が発生した際に、各地域に拠点を置く消防団の迅速な対応がとて重要になってきています。災害は発生を抑制させることができないため、日ごろから災害に対する危機感を地域住民に根付かせなければなりません。特に長野県北部地震においては住民同士の助け合いで死者が出なかったということもあり、災害時の自動・共助が被害拡大抑制に繋がると再認識されました。地域に密着した活動を行っている消防団員が指導することで住民の有事に対する意識向上に繋がりたいと思います。



防災訓練での指導風景

5 おわりに

今回の「まとい」受章を期に、これまで以上に気を引き締め、災害時、訓練時そして日ごろから、地域の安全を守る、住民にとって身近で頼りになる存在であるために日々、消防団活動に当たっていきたく思います。



「安全・安心のため」



吉野川市消防団 団長 米谷 規博

1 吉野川市の紹介

吉野川市は、平成16年10月1日に、麻植郡鴨島町、川島町、山川町、美郷村の4町村が合併し誕生しました。徳島県北部のほぼ中央、一級河川である吉野川の南岸に位置し、人口は44,020人、世帯数は15,794世帯、総面積は144.14平方km²（平成22年国勢調査）です。

市の花は、キク。大菊から小菊まで色とりどりの美しい花を咲かせ、切り花や鉢植えなどの観賞用として広く市民に親しまれています。市の木は、オンツツジ。昭和60年に国の天然記念物に指定された船窪のオンツツジは、他に類を見ない大群落を形成します。市の鳥はカワセミ。きれいな水辺に棲む鳥で、市の



船窪つつじ公園

の名称の由来でもある吉野川の清流を象徴する鳥です。恵まれた自然環境の中、①市民が生き生きと活動する利便性の高いまちづくり、②健康で快適に暮らせる地域づくり、③活力ある産業の振興、④豊かな人間性をはぐくむ地域づくり、⑤ゆとりとふれあいの生活環境の形成の5つの理念を柱と

し、「世代を越えて夢紡ぐまち 新・生活創造都市」を目指しています。

本市の北側には一級河川である吉野川が東西に流れており、飯尾川や栗村川、学島川、川田川、岩屋谷川、ほたる川などの多くの川が吉野川に向かって流入しています。また、本市の南側には四国山地の北部にあたる急峻な山地が連なっています。このような地形の特性のため、毎年、降水量の多い季節には、広い範囲で大きな風水害が危惧される場所です。平成16年10月20日に上陸した台風23号の際には、本市全域において多大な被害が発生しました。吉野川の水位上昇により飯尾川をはじめとする河川が排水不良となり、内水の氾濫によって約270件の床上浸水、約680件の床下浸水の被害を受けました。

2 消防団について

吉野川市消防団は、平成16年10月1日の町村合併の際に、「本団1・分団37」の組織に再編されて発足しました。消防団員数は716名（平成27年4月1日現在）で、平常時から火災予防の啓発活動や防火防災訓練などに積極的に取り組んでいます。

火災が発生した場合には、迅速な初期対応が最も重要となります。本市消防団では、その発生と発生場所を消防団員に周知する

ため、受令器やサイレン吹鳴のほかに、携帯電話のメール機能を活用しています。これは、本市の徳島中央広域連合消防本部・東消防署・西消防署のメール配信システムに、あらかじめ消防団員のメールアドレスを登録しておくことで、消防団員の携帯電話に火災の発生内容を配信するというものです。このシステムの活用により、迅速な初期対応が展開されています。

また、本市では、今後30年以内に60～70パーセントの確率で発生すると予測されている南海トラフ巨大地震により、M8～9クラスが発生すると考えられています。本市全域において大規模な被害が生じた場合には、平常時にも増して消防団と防災関係機関との連携が必要不可欠となります。本市消防団は、前述の消防本部・東消防署・西消防署や吉野川警察署との連絡協議会を定期的に開催したり、各地域の自主防災組織の防災訓練に積極的に参加したりすることによって、これらの防災関係機関との協力体制や連絡体制が常に万全のものとなるように努力を重ねています。



水防訓練



操法大会

3 おわりに

今日、南海トラフ巨大地震の発生、またはゲリラ豪雨などの大規模災害の可能性が高まる中、災害現場の第一線を担う消防団の果たす役割はますます大きくなっています。

しかしながら、現在、消防団員の減少、高齢化などの全国的な課題は、本市においても例外なく、地域防災力の低下が懸念されています。

吉野川市消防団は、今後も「自らの地域は自らで守る」という精神に基づき、消防署や地域の自主防災会をはじめ関係機関と連携を図りながら、安全で安心して暮らせるまちづくりを目指してまいります。



防火パレード



「消防団の新たな力」



新庄市消防団 団長 浅井 一男

1 新庄市の紹介

新庄市は山形県の北東に位置し総面積222.85km²、人口37,407人、東側に日本百名山になっている神室連峰をのぞみ、市の南西部を県の母なる川、最上川が流れております。また県を代表する山である鳥海山、月山を眺めることができます。

古くから南北と東西を結ぶ交通の要所として栄えており、現在は県庁所在地以外では有—oneの新幹線のターミナル駅(終着駅)になっております。

毎年8月に開催される新庄まつりは、市内の各町内が作った山車が、子供たちに曳かれ市内を練り歩きます。平成9年に国重要無形民俗文化財に指定され、今年で260年目を迎えます。



操法審査会



春季消防演習 分列行進

2 新庄市消防団の概要

新庄市消防団の歴史は古く、江戸時代に「いろは組」が組織され、その後明治時代の「消防組」、戦前から戦後の「警防団」と名称を変え、昭和22年に「消防団」と改称し、今日にいたります。団本部、17分団、34部、95班で編成され、団員数1,153名、消防車両は、小型動力ポンプ付積載車34台、小型動力ポンプ61台を有しております。

3 女性消防隊発隊

今年の4月に32名の女性消防団員が入団し、女性消防隊を発隊することができました。平成25年度から女性消防隊についての話し合いを進め、平成26年の夏から募集を開始しました。各分団長を始めとする団員個々の地道な働きかけもあり、発

隊からこのように多くの方に入って頂くことができました。また、今回の女性消防隊の発隊には、消防協会を始めとする、多くの方のご助力を頂き、この紙面をお借りし御礼申し上げます。

女性消防隊については本部付きとし、防火防災の広報啓発活動及び救命救急の普及を主な活動として行っていきたいと考えております。救命救急については、女性隊員全員が応急手当普及員の資格取得を目指し、様々な機会を通じ市民の方に応急手当を普及できるようにしたいと考えております。

今年6月には山形市消防団女性消防隊との交流会を開催し、女性消防隊員の活動内



山形市消防団女性消防隊との交流会



春季消防演習 小型ポンプ95台による一斉放水

容やこれまでの活動で感じたことなどをお伺いし、貴重な意見交換となりました。今後も他女性消防隊との交流を深め、より良い活動ができるよう進めてまいります。

4 終わりに

新庄市の人口は、他の多くの地方都市と同様年々減少しており、少子高齢化も進んでおります。そのような厳しい状況の中であっても、今年、多くの女性消防隊員が入団し女性消防隊が発隊できたことに大変心強く感じております。新庄市消防団は、江戸時代以来の歴史と伝統を受け継ぐと共に、女性消防隊という新たな力を得ることが出来ました。今後は、この新しい力とともに、よりいっそう地域防災力の要としての自負を持ち、地域住民が安全、安心に暮らしていけるよう取り組んでまいります。



地域防災の要」として



南越前消防団 団長 谷口 栄助

1 南越前町の紹介

南越前町は、福井県のほぼ中央に位置する人口11,200人の町です。平成17年1月1日に南条郡の旧南条町、旧今庄町、旧河野村の2町1村が合併し、今年誕生10周年を迎えました。

町の中央を日野川が流れ、上流は豊かな森林に恵まれた山々、下流は整備された田園地帯が広がっています。町の北西部は日本海に面し、山・海・里の多様な自然に恵まれた町です。

夏には、日本一の出荷量を誇る「花はす」が、秋には峠越えの旅人が「一つ食べれば一里、三つ食べれば三里歩ける」と重宝した、400年の伝統を持つ特産品の吊るし柿が、冬には、日本海の厳しい荒波を背景に「水仙」が凛と花を咲かせ、南越前町の風物詩となっています。また、岐阜県との県境にある「夜叉が池」には国内希少野生動物種であるヤシャゲングロウが生息しています。



春の夜叉が池

2 南越前消防団の概要

町村合併と同時に、消防団も統一し、南越前消防団が誕生しました。日本消防協会からは、「まとい」「表彰旗」「竿頭綬」を授与されており、歴史と伝統のある消防団です。

誕生から10年が経過した今年は、女性15名で編成する山海里分団さんかいりを新設し10個分団、団員195名が活動しております。

消防車両等は、消防ポンプ自動車6台、小型動力ポンプ付積載車5台、小型動力ポンプ11台を配備しており、地域防災力の要として、消防防災体制の強化に取り組んでおります。

3 南越前消防団の活動

当消防団の活動は出初式に始まり、文化財防火デーや春・秋の火災予防運動行事の消防訓練を、旧町村輪番の会場でを行い、住民の防火意識の高揚を図っております。

また、地域の特性として、春先は消防団車で林道を巡回しながら山火事防止広報、夏は越前海岸でバーベキューや海水浴による事故防止を呼びかけ、冬は除雪活動で消防水利を確保しております。

団員の教育は、一日消防学校を年2回開催し、規律訓練や機関運用訓練、ポンプ操作、救急講習の実技及び災害対応要領等の

座学を実施する他、分団毎の訓練を行い、知識技術の取得に努めております。

団員は、防犯隊員も兼務しており、町内の巡回警らや行方不明者の搜索等では、警察と連携した活動を展開して住民の安全確保に貢献しております。



一日消防学校

4 女性消防団の取組み

山海里分団は、消防団活動に必要な初期消火や応急手当に関する教育を終え、今後



山海里分団辞令交付式

は女性ならではのきめ細やかな感性を生かした火災予防広報や応急手当の普及啓発活動及び大規模災害発生時の後方支援に備えた訓練を強化いたします。

また、女性団員の誕生は、消防団組織全体の活性化の繋がるものと期待しています。



越前海岸の夕景

5 おわりに

「自分たちの町は自分たちで守る」という、郷土愛護精神のもと、安全で安心して暮らせる南越前町を次の世代に引き継げるよう、今後も地域防災力の要としての取り組みを継続いたします。



「町民の生命と財産を 守るため」地域を 守る消防団



佐川町消防団 団長 横島 和夫

1 佐川町の概要

佐川町は高知県の中西部にあり、面積は100.8平方km²、人口は13,530名、世帯数6,150世帯、四国山地の支脈に抱かれた盆地の町です。年平均気温は16.3度で比較的温暖な気候ですが、盆地特有の気候変化がみられ、年間を通じて昼夜の温度差が激しく、温度差を利用した新高梨や苺、茶などの農業が盛んで、日本酒「司牡丹」や町内の酪農家から集めた生乳「地乳」を使用したアイスなどの加工品なども人気を集めています。町内を高知市と愛媛県松山市を結ぶ国道33号線とJ R土讃線が通り、江戸時代より交通の要衝と位置づけられています。

2 佐川町消防団の概要

佐川町消防団は、佐川町と隣接4村が合併した昭和29年に発足。現在、5分団28班で構成されており、定員185名に対して実員180名(女性団員含む)、充足率97%と高い充足率で地域の防災活動に尽力しています。「町民の生命と財産を守るため」を合言葉に、高吾北町村事務組合消防本部や近隣の消防団とも連携しながら日夜、活動を行っています。



佐川町の中心部

3 佐川町消防団の活動

効果的な消防団活動には各分団の連携が欠かせません。特に、日中は町外に働きに出る団員も多く、中心地にある佐川分団を中心に火災出動など緊密な連携をとりながら活動を行っています。火を出さないための啓発活動はもちろんですが、有事に備えた団全体の合同訓練や各分団での訓練も行っており、消防団員の技術向上に努めています。さらに、隔年で隣町の越知町消防団とも合同訓練を行っており、大規模災害にも備えています。

また、昨年度には消防活動用自動二輪車が1台配備されました。災害時の情報収集や車が入れない孤立集落への物資の搬送などを想定しており、近い将来に発生が予想されている南海トラフ大地震に備えています。今後は、増台し更なる有効活用に向けて自動二輪車隊の設立、訓練計画を検討しています。



水防訓練

4 終わりに

今後30年以内に南海トラフ大地震が発生する可能性は70%とされています。当町は、内陸で太平洋に面していないため、津波の心配はありませんが、土砂災害や家屋の倒壊、道路の寸断などが危惧されています。地元の被害を最小限に抑える活動はもちろんですが、近隣地域への応援も重要な課題となっています。特に沿岸市町村では津波被害が懸念されており、そういった場合にどのような支援ができるのか、協議を重ねて準備することが必要です。

最後になりますが、私達の活動は常に危険を伴います。大規模災害時、まず団員自らの命は自らが守らなくては住民の皆さんの生命や財産を守ることは出来ません。東日本大震災を教訓として、装備の充実や連携の強化を行い、実働訓練や図上シミュレーション訓練などを繰り返し実施して団員の災害対応力を高め、南海トラフ大地震発生時に想定外と言わないよう減災を目指さなければなりません。



一斉放水訓練



シンフォニー（秋田県） 女性消防団私たちの活動日誌 —ポイ捨て禁止ですよ—

仙北市消防団 団本部 班長
西宮 三春

秋田県仙北市は、武家屋敷で有名な角館、日本一の深さを誇る田沢湖と観光名所が多いまちです。平成21年4月に4人の女性消防団員でスタートし、現在本部14名、分団付2名の計16名で活動しています。



禁煙とポイ捨て禁止呼びかけ運動

その中でも昨年からはまった活動が、武家屋敷の桜が満開を迎えるゴールデンウィークに合わせて、武家屋敷通り内の禁煙とポイ捨て禁止を呼びかける運動です。角館の桜は全国的に有名で、この時期だけでも県内外から訪れる観光客は約120万人と多く、連休中の武家屋敷通りは歩行者天国となりゆったりと景色を楽しむことができます。この武家屋敷通りは、国指定の「重要伝統的建造物群保存地区」となっており、歴史あるまちを守る私たち消防団員も、訪れた観光客の皆さんに火災予防のご協力をお願いしています。

半纏を着用し呼びかけをしていると、観光客の方が励ましのお言葉をくださったり、中には自分も消防をしているよと声をかけてくださる方もいました。地域を守る活動を地域住民だけでなく観光客の方にも周知することで互いに防災意識向上となっています。この活動は女性団員だけでなく、団長をはじめ男性団員も一緒に行っており、若い男性団員からは自分も一緒にやってみようという声もあり、今後長く続けていきたい活動のひとつです。

また、同じく昨年からはまったのが応急手当普及員としての活動です。この普

及員の資格を取得するには24時間の講習がありますが、これも女性だけでなく各分団の男性団員も一緒に受講しています。普及員の資格を持つ女性団員は、既に中学、高校、企業、団体などへ普通救命講習の指導を行っています。一緒に指導をする救急救命士の方々の指導レベルに近づくため、定期的に勉強会を開き参加された方が分かりやすく、しっかりと技術を身につけられるように団員同士で

練習しています。AEDの普及と同時に、助かる命を救える人になってほしい、その思いを女性特有のソフト面を活かし市民に伝えていきたいと思います。

また消防活動をもっと身近に感じてもらいたい、そして顔の分かる女性団員を目指し、私たちの活動を市の広報にも掲載しています。市民一人ひとりの防災意識向上のため、今後もより地域に根付いた活動をしていきたいと思います。



応急手当普及員講習



普通救命講習の指導

「住警器 早めの交換を！」

滋賀県草津市消防団

1 草津市の紹介

草津市は滋賀県の南東部に位置し、南北約13.2km・東西10.9kmとやや南北に広がった地域からなり総面積は67.82km²、人口約12万9千人、国土主要幹線のJR東海道本線（琵琶湖線）、新幹線、名神高速道路、国道1号線などが市域を通り、県下で中心的な役割を果たす都市となっています。

また、当市は大規模な工場が多数立地しており、さらには京阪神圏のベッドタウンとして、人口の増加が続いています。

ちなみに、安心度や快適度、利便性などを指標とする「住みよさランキング」によると、当市が近畿エリアで2年連続、西日本エリアでも初のトップとなっております。

2 草津市消防団の活動紹介

昭和29年10月15日に草津市の市制により、草津市消防団が発足し、現在、女性分団(KFFL分団「クワカクアイトングレインズ分団」)を含め、団本部、8分団221名で構成しています。消防車両等は、司令車等4台、ポンプ自動車7台、小型動力ポンプ付積載車7台を有しております。

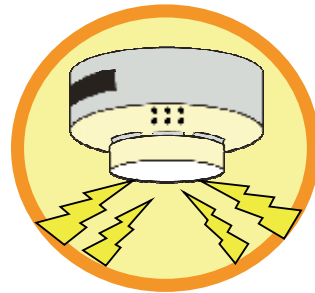
当消防団は、「草津市消防団活動基準」を平成20年4月1日に制定し、KFFL分団を除く7分団を二分し、方面体制をとることにより、複雑多様化する災害に迅速に対応出来る体制としています。

火災予防活動については女性消防分団が中心となり、市内に居住されている一人暮らしの高齢者宅への防火訪問を計画的に実施し、住宅用火災警報器や住宅用消火器などの防災機器の普及活動を実施しています。



一人暮らしの高齢者宅防火訪問

また、保育園や幼稚園防火訪問では、オリジナルの「ほうさいダックカード」を使用して防災教育を実施しています。



3 住宅用火災警報器の設置状況

下記の表のとおり、草津市内における住宅用火災警報器の設置率は全国平均及び滋賀県平均を上回っていますが、未だ約15パーセントの一般住宅が未設置の状況です。

住宅用火災警報器設置率	
H27.4.1 現在	設 置 率
全国平均	79.60%
滋賀県平均	83.70%
草津市平均	84.69%

4 住宅用火災警報器の交換時期

平成18年6月1日、当市を管轄する湖南広域行政組合火災予防条例の改正により住宅用火災警報器の設置が義務化されて以降、住宅用火災住警器本体の交換時期（概ね10年）があと1年に迫っています。

5 最近の火災による死者の発生状況

当市における一般建物火災での死者数は、昨年1年間の3名に対して、本年4月末現在で既に2名の犠牲者を生じています。

6 草津市消防団における取組み

住宅用火災警報器の設置状況及び最近の火災状況により、火災予防における指導を強化するため、杉江消防団長以下、すべての消防団員の世帯（221世帯）に設置してある住宅用火災住警器の交換を本年の5月中に終了しました。



杉江消防団長宅での住警器の交換

7 住宅用火災警報器に係る今後の取組み

当消防団では、尊い人命を救う重大な任務に携わるものとして、まずは自分たちが率先して住宅用火災警報器の交換をしたうえで、一般住宅火災による高齢者の逃げ遅れを防止するため、自治会等の協力を得て、高齢者住宅を中心とした火災広報活動を実施しつつ、未だ設置されていないご家庭への設置指導とともに、交換時期に近づいた住宅用火災警報器の交換指導を併せて実施していきます。

8 その他の取組み状況

当消防団は、消防団を中核とした地域防災力の充実強化に向け、下記のとおり取り組んでいます。

- 男女消防団員の入団確保
- 新規分団の創設
(平成28年4月分団詰所開所予定)
- 機能別消防団員の入団促進
(外国人への災害対応として、大学に在籍している留学生を対象)
- 消防団協力事業所としての協力依頼
(機能別消防団員の在籍する大学への協力依頼)
- 消防装備の計画的購入

9 特記事項(女性消防団員の加入促進)

本年の10月3日に滋賀県消防大会を当市で開催しますが、今年は周年の節目にあたる第60回目の開催となります。

今年度の滋賀県消防大会は、全国でも例を見ない「立命館大学びわこ・くさつキャンパス」で举行します。

本大会は、職・団員の皆様への表彰はもちろんのこと、特に県内において女性消防団員を採用されていない消防団への女性消防団員加入促進事業を同大学生(同大学カラーガードサークルLUSTER等)の協力を得て実施します。

10 決意の一言

市民の安全で安心した暮らしを守っていくため、草津市消防団員が丸となり、住宅用



草津市消防団長
杉江 肇

火災警報器の交換を機として、消防団活動に関する課題解決に向けた様々な取組みを草津市や滋賀県消防協会など、関係機関の協力を得ながら実施していく所存でございます。

平日昼間の地域防災力を強化

宗像市消防団 市役所・県総合庁舎合同分団 設立

福岡県宗像市消防団

宗像市では、月～金曜日の昼間の消防団員不足を解消するため、市と県の職員で構成する全国初の機能別分団を設立しました。宗像市職員12名、福岡県職員12名、社会福祉協議会職員1名の25名で構成しており、うち女性は7名となっています。



規律訓練

宗像市は総面積119.67平方km²、総人口96,734人（平成27年2月末）。福岡市と北九州市の両政令指定都市の間に位置し、玄界灘を望む豊かな自然が残る「学術文化都市」です。現在、消防団員数は実人数609名。（定員609名）。ただし、被雇用率は年々増加し、平成26年度は54.8%となっています。実際に、夜間の出動は団員を参集できるのですが、平日昼間の出動については、人手不足が否めない状況となっていました。

そのため、平成26年4月より宗像市消防団長、副団長、宗像市総務部生活安全課で、平日昼間の地域防災力を強化できないか検討を始めました。

宗像市では、市内在住の職員は地元の消防団に所属（任意）していますが、市外在住者は、消防団に所属していないことに着目し、市外在住の市職員で構成する平日昼間限定の機能別分団を設立する方針を打ち出しました。ただし全員が消防団初心者では機能しないため、消防団OBの市職員を組み込むこととしました。消防車両については、他の分団が使用していたCD-1型ポンプ車を譲り受け

ることとしました。

その後、福岡県総務部防災危機管理局消防防災指導課から、宗像市が進めている機能別分団を、宗像市役所に隣接する福岡県総合庁舎の職員と合同で設立できないかと相談がありました。

組織の違う職員の集団でうまく連携をとれるのか？迅速な出動体制が確立できるのか？不安要素はありましたが、団員を確保することが先決とし、市役所・県総合庁舎

合同分団を設立することで決定しました。

団員の確保については、8月から11月
にかけ、4回の説明会を実施。また、個別
に入団勧誘を行い、平成26年12月までに
25人の団員を確保することが出来ました。

体制が整い、平成27年1月5日、結団
式を開催しました。消防団長から辞令交付。
宗像市長及び福岡県総務部防災危機管理局

長のあいさつ。団員の決意表明を行いました。

福岡県職員の中川いずみ氏から「宗像市
職員との連携を図りながら、市民の生命・
財産を守り、安心安全のまちづくりのため
に、地域貢献する活動を積極的に行ってい
きたいと思います」と力強い決意表明があり
ました。



結団式



結団式

平成 27 年 1 月 12 日の宗像地区消防出初式で披露した後、1 月 15 日から宗像地区消防本部で訓練を開始しました。1 月は規律訓練。2 月は、ホースの取扱い訓練。3 月は、ポンプ車を使用した放水訓練を実施しました。訓練を重ねることで、市職員と県職員のコミュニケーションをとることができていると感じます。

平成 27 年 4 月からは、平日昼間の火災及び行方不明者捜索に出動します。今後の宗像市消防団 市役所・県総合庁舎合同分団の活躍に期待します。



放水訓練



放水訓練

○ 団員のコメント

井上康幸氏（分団長）市職員

地域の消防団を 26 年務めた経験を生かし、分団員の技術向上のため、努力します。全国初の市・県合同の機能別分団となるので、模範となれるよう、一致団結して頑張ります。出動の機会がないのが一番ですが、火事などが発生した時は素早く対応できるように、今後訓練を重ねていきます。



井上 康幸 分団長

橋詰さくら氏（団員）社協職員

何か人のためにできることがないかなと思ってたとき、この機能別分団の話ももらい、入団を決意しました。ここでは、女性の分団員も消火活動などに当たるので、男性と比べるとやはり体力面で不安があります。でも足を引っ張らないよう責任をもって頑張ります。



橋詰 さくら 団員

「第11回小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」 文部科学大臣賞受賞

北海道札幌南区川沿少年消防クラブ

「第11回小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」（一般社団法人日本損害保険協会、日本災害救援ボランティアネットワーク、朝日新聞社主催）において、札幌市南区の川沿少年消防クラブが最高賞の『文部科学大臣賞』を受賞しました。



受賞後の記念撮影右はリーダーの田中公瑛君、左は山崎指導部長

「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」は、小学生複数名と大人で編成された「ぼうさい探検隊」が地域の防災、防犯及び交通安全に関する施設や設備を楽しみながら見て回り、それらの探検結果をもとに作成したマップのコンクールで、平成26年度は全国の小学校や子ども会、ボーイスカウト、少年消防クラブなどから、過去最多の2,267作品の応募がありました。

受賞した川沿少年消防クラブは、山崎英雄クラブ指導部長を中心に、5、6年生のクラブ員10名、中学1年生の準指導者1名の合わせて11名で「南区川沿大雨みまもりたい」を結成し、一昨年、昨年と全国で発生した大雨災害と、昭和56年に札幌で発生した「56水害」から、

自分たちの地域には大雨災害の危険がないか、災害時に自分の命を自ら守れるか？をテーマに、地区内でクラブ員のほとんどが在籍する藻岩小学校の校区を中心に、大雨災害時にどのような危険があるかを調査しました。



「南区川沿大雨みまもりたい」集合写真



マップ作成の様子

マップの構想段階であった平成 26 年 9 月 11 日には、北海道石狩地区に大雨特別警報が発表される大雨災害があり、実際の避難経験等を通じて「他人事ではない」と危機意識を持って熱心に調べ、より見やすいレイアウトを考えて、マップ完成までに約 1 か月を費やしました。

3 月 30 日に、上田文雄札幌市長に文部科学大臣賞の受賞報告を行い、市長から「このマップをクラブの伝統の一つとして、後輩に伝えていってほしい」とエールを送られました。



消防職員から消火栓について学ぶ様子



訓練の様子



札幌市長へ受賞報告

川沿地区大雨危険マップ



2014年は、真夏から梅雨にかけて大雨による被害が多くなり、お盆過ぎ、お盆明けの大雨が連続して、7月の10日11日に合わせて、過去最大規模の豪雨が降り、避難者も発生しました。また、今年も梅雨の大雨が続き、7月10日11日に合わせて、過去最大規模の豪雨が降り、避難者も発生しました。

瀬川の山と川 札幌川沿少年消防クラブ(5年6年)

2014年7月10・11日 豪雨 初の特別警報

道央90万人避難勧告
札幌市南区で33万



56水害
過去最大規模の豪雨
7月10日11日の大雨
札幌市南区で33万人が避難勧告を受けた。過去最大規模の豪雨による被害が多くなり、お盆過ぎ、お盆明けの大雨が連続して、7月の10日11日に合わせて、過去最大規模の豪雨が降り、避難者も発生しました。



1時間雨量の目安

10mm未満	10mm以上20mm未満	20mm以上30mm未満	30mm以上40mm未満	40mm以上50mm未満	50mm以上
通常の雨	大雨	激しい雨	激しい雨	激しい雨	激しい雨

避難準備の目安

- 避難準備の目安は、避難指示が出る前に避難することです。
- 避難指示が出たら、速やかに避難してください。
- 避難指示が出たら、速やかに避難してください。



川沿地区 高低差

酒防署の方に質問してみました

Q1: 大雨で避難が必要な時に避難は、何ですか？

A: 避難指示が出たら、速やかに避難してください。

Q2: 避難指示が出たら、何を準備する必要がありますか？

A: 避難指示が出たら、速やかに避難してください。

Q3: 大雨で避難が必要な時に避難は、何ですか？

A: 避難指示が出たら、速やかに避難してください。

まとめ

- 自分の住んでいる場所の危険をよく知る
- 大雨・地盤災害などによって避難する場所が建つ場合があるのを、確認しておく
- 避難する時に注意することを知る
- 多量な被害がなかったらいいけれど、大雨や大雨による被害は、必ず発生する。

今年の豪雨は56水害ほどの被害にはなりませんが、56水害時の雨量も小まめに、今後対策を講じていかなければなりません。

地域で協力して、安全に暮らしたい所であるように、私たち一人一人が努力していきたいと思っております。

のりこ
(品川・及川) 北出・恒本・及川)
(佐々木・森辺・宮島・塩見・中田)

川沿地区大雨危険マップ

福祉共済の健康増進事業 「消防団健康セミナー」を実施

(公財)日本消防協会

日本消防協会では、消防団員及びその家族の方々の健康増進事業の一つとして、消防団員の皆さんそれぞれが健康的な体を維持するため、専門家による講演を実施し、地域の安全安心を担っている消防団員等が安心して消防防災活動を行うことができるよう、健康と安全をサポートするため生活習慣病の予防など健康増進に資するため「消防団員健康セミナー」を実施しています。

都道府県	実施団体	開催日	場 所
茨城県	(公財)茨城県消防協会	平成27年7月9日	日立市「鶴の岬」
福島県	郡山市消防団	平成27年7月12日	郡山市役所
東京都	(一社)東京都消防協会	平成27年9月6日	スクワール麴町
岐阜県	中濃ブロック消防協会会長	平成27年9月25日	アピセ・関
奈良県	奈良市都市消防団長会	平成27年10月4日	桜井市立図書館
愛媛県	愛媛県消防協会中予支部	平成27年11月15日	東温市消防本部
大分県	(一財)大分県消防協会	平成27年11月26日	別府保養所「豊泉荘」
宮城県	(公財)宮城県消防協会	平成27年11月27日	宮城県消防学校
奈良県	奈良県都市消防団長会北和ブロック	平成27年11月28日	奈良ロイヤルホテル
宮城県	(公財)宮城県消防協会	平成27年12月3日	大崎市鳴子ホテル
東京都	(一社)東京都消防協会	平成27年12月5日	大田区立池上会館
広島県	安芸高田市消防団	平成27年12月5日	安芸高田市八千代人権福祉センター
沖縄県	(公財)沖縄県消防協会	平成27年12月14日	沖縄県消防学校
山口県	(公財)山口県消防協会	平成28年1月30日	カリエンテ山口
三重県	三重県消防協会	平成28年1月31日	津都ホテル
広島県	広島市消防団	平成28年1月31日	広島市総合防災センター
熊本県	(一財)熊本県消防協会	平成28年2月11日	調整中
広島県	三次市消防団	平成28年2月12日	みよしまちづくりセンター
高知県	(公財)高知県消防協会	平成28年2月19日	ザ・クラウンパレス新阪急高知
福島県	(公財)福島県消防協会	平成28年2月26日	郡山市ホテル華の湯
青森県	(公財)青森県消防協会	調整中	調整中



平成27年度消防育英会奨学生懇談会を開催

(公財)消防育英会

(公財)消防育英会は、7月30日(木)、31日(金)の2日間にわたり、東北・関東・中部地区の小学1年生から高校3年生までの奨学生19名、保護者13名、各県消防育英会担当者と事務局が参加して平成27年度消防育英会奨学生懇談会を開催しました。

1日目は、日本消防協会館に集合し、消防育英会役員と奨学生の皆さんとの昼食懇談会を行いました。今年度は、東日本消防殉職者遺児育英奨学基金へご寄附をいただいた方々をご来賓としてお招きし、ご来賓の方々から、参加奨学生に対し心こもったお言葉をいただきました。また、参加奨学生からは、自己紹介と将



昼食懇談会の様子



昼食懇談会の様子

来の夢や頑張っていることを語ってもらいました。昼食懇談会後は、ご来賓も一緒に会館屋上にある全国消防殉職者慰霊碑に参拝しました。

その後、バスで、有明の「東京都水の科学館」へ向かいました。「東京都水の科学館」では、改めて水の大切さを知るとともに、水に関する実験や体験をしました。



全国消防殉職者慰霊碑に参拝

宿泊ホテルでは、奨学生懇談交流会を開催しました。消防育英会小野総務部長による挨拶の後、参加者を代表し北清直美さんのご発声で交流会が始まりました。子供たちや保護者が情報交換を行いながら親睦を深め、途中事務局によるゲームなどを行い、最後は、参加奨学生保護者を代表して門間美佐恵さんからご挨拶をいただきました。笑いありの和やかな雰囲気のもとに終了し、参加者同士の交流が深まりました。

2日目は、参加者全員が楽しみにしていた「東京ディズニーランド」で課外研修を行いました。天気は、夏本番のとても厳しい暑さでしたが、参加者は思い思いのアトラクションで一日中、楽しんでいました。

きっと、夏休みの良い思い出になったことでしょう。



懇談会の様子



東京ディズニーランドにおいて

スマホを活用した災害応急活動支援システム「多助」について

(一財)消防科学総合センター



近年の情報通信における著しい技術進歩の中で、防災・減災分野においても情報通信の果たす役割は増大する一方となっています。特に災害応急対応の責任を担う消防団では、災害発生が予見される時、あるいは災害が現出した時に、いち早く災害情報を入手し、迅速に応急活動に着手することが求められています。

併せて活動中の消防団員の身の安全も確保しなくてはなりません。今般の東日本大震災では、住民の避難誘導や水門の閉鎖活動において情報伝達の不備による逃げ遅れ等により、消防団員の皆様に多くの犠牲者が生じたことは記憶に新しいところです。

そうしたことを踏まえ、総務省消防庁では「国、都道府県及び市町村は、災害に関する情報を確実に消防団員等に伝達するため情報伝達手段の多重化・双方向化を図る必要がある。」とし、昨年2月「消防団の装備の基準」の改正を行いました。

そこで、当センターでは、平成25年度から最新の情報通信技術を活用することにより前述の諸問題に対応することとし、各地の消防本部、消防団、総務省消防庁、公益財団法人日本消防協会等消防関係団体のご協力の下に、株式会社日立製作所と共同で消防団員をはじめ災害応急活動に従事される方々が保持するスマートフォンを活用して、24時間365日いざという時に備え、津波等の危険情報その他の災害情報を文字情報として一斉伝達するほか、災害現場の状況等を画像情報あるいは音声情報として、災害対策本部等に送信し災害応急活動を支援する双方向通信システム、「多助」(商標登録済み)の開発を行い、今年度4月1日より運用を開始しました。

「多助」は、災害が発生する時だけでなく、平時においても、災害危険箇所の見回り等危機管理業務に幅広くご利用いただけるものであります。加えて、今後巨大地震や火山噴火が想定される中、消防団の情報収集・伝達能力の強化が急がれます。一昨年12月に制定された「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」に基づく地域防災力の向上を実現させるためにも、一番地域生活に密着しています消防団の皆様にご利用がなされますよう是非ともご検討をお願いします。

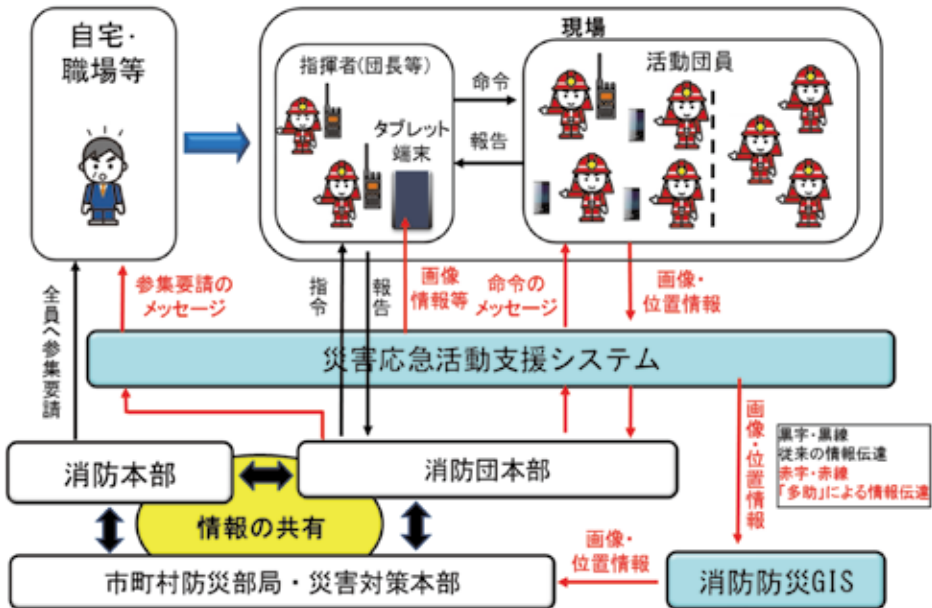
◎「多助」の機能について

- (1) 全団員へ出場又は参集要請をメールで伝達
- (2) 緊急時には、スマートフォン登録団員にメールで一斉指令伝達
- (3) スマートフォン登録団員が災害状況を画像で送信
- (4) スマートフォンのGPS情報で登録団員の位置を送信
- (5) 緊急時には、スマートフォン登録団員による本部呼出し（オプション機能）
- (6) スマートフォン登録団員同士の音声通話（トランシーバー機能）（オプション機能）
- (7) 消防防災GISとの連携

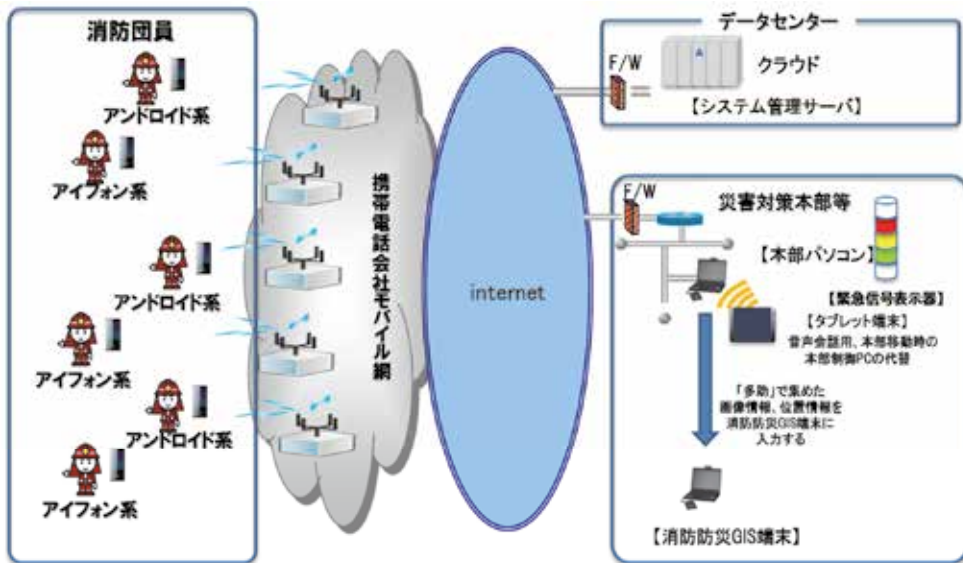
◎「多助」活用のメリット


- (1) 専用のアプリケーションにより操作が容易にできます。
- (2) 日頃使っているスマートフォンを使用するため、24時間・365日利用できます。
- (3) 音声通話に比べ通信規制が少なく、基地局がダウンしない限り災害時に支障がなく使用できます。
- (4) 画像や位置情報により現地の情報が具体的に把握でき、指揮・指示等の判断がより迅速・正確にできます。
- (5) 携帯無線機を持たないスマートフォン登録団員に緊急事態を知らせることができ、危険から守ることができます。
- (6) 消防防災GISに「多助」が集めた画像・位置情報を即時に表示することにより、行政対応能力の強化を図ることができます。

「多助」を消防団活動に活用した場合のイメージ



「多助」を消防団活動に活用した場合の構成図



 : スマートフォンを持った団員
 スマートフォンのOSはアンドロイド系は4.2を推奨、アイフォン系はiOS8.1を推奨

◎お問い合わせについて

「多助」普及推進室 電話 0422-24-7810 (直) /0422-49-1113 (代)

9月1日は防災の日 防災訓練に参加しましょう

～災害に備え、防災知識の向上をめざす～

総務省消防庁防災課

わが国では、毎年のように地震、台風、大雨などの自然災害が発生し、各地で多くの被害が出ています。なかでも、平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、地震と津波等により死者・行方不明者が2万1,000人を超える甚大な被害が発生しました。

また、首都直下地震や南海トラフ巨大地震といった大規模地震の切迫性も指摘されています。

さらに、近年では局地的大雨やこれに伴う土砂災害、火山噴火、地震による被害が多発しており、平成26年8月に広島県で発生した、大規模な土砂災害では死者が70人を超える甚大な被害が発生しました。また、平成26年9月に長野県御嶽山で発生した火山災害で死者50人を超える被害が生じました。

このような状況の下、被害を最小限に抑えるためには、国民一人ひとりが災害に対する正しい知識を身につけ、いざというときに落ち着いて的確な行動をとることが重要です。また、災害に対する備えは日ごろの防災意識や防災訓練の体験によって培われますので、そのためにも、各地方公共団体、企業、地域コミュニティなどで行われる防災訓練に積極的に参加することが望まれます。

防災訓練では、情報の収集伝達、避難・誘導、初期消火、応急救護、地震体験など実践的な対応を経験することにより、一人ひとりが災害発生時の対応策を身につけることができます。

国や地方公共団体では、毎年9月1日の「防災の日」や8月30日から9月5日までの「防災週間」、11月5日の「津波防災の日」を中心に防災訓練を行いますので、積極的に参加し、いざという時に対応できる力を身につけましょう。



平成26年総合防災訓練
岩手県宮古市提供
*防災訓練の日程は地域によって異なりますので、詳細はお住まいの地方公共団体にお問い合わせください。

〈 いざというときの備え確認チェック☑ 〉

- 非常持ち出し品の準備、指定緊急避難場所までの順路の確認
 - 次の物はすぐに持ち出せるように用意しましょう。
現金、救急箱、懐中電灯、ライター、電池、毛布、食品、飲料水、ラジオなど
- ※ なお、実際の避難の際は、火災を防ぐためガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを切ることが重要です。
- 消火器の正しい使い方などの習得
 - 消火器は初期消火に有効なので正しい使い方を覚えましょう。
- 軽いけがの処置など、協力して行う応急救護の方法を学ぶ
 - 消防署などで行う救命講習会では、軽いけがの処置をはじめAEDを使用した心肺蘇生法について習得できますので、進んで参加しましょう。
- 家具等の転倒・落下防止など、自分たちで事前に備えとしてできることを実行する
 - 自分の身は自分で守る、自分たちのまちは自分たちで守る、という意識を持って生活しましょう。
- 正しい情報の入手方法と家族や近隣の人の安否情報を確認する方法を学ぶ
 - 携帯電話、インターネット、ラジオ、防災行政無線などで正しい情報を入手しましょう。
 - 毎月1日・15日や防災週間などで災害伝言ダイヤル(171)が体験利用できるので、使い方を確認して、いざというときに大切な人の安否情報を確認できるようにしましょう。
- 地域住民等で協力して行う救出活動の方法を学ぶ
 - 大規模な災害時には消防車や救急車がすぐに現場に向かえない場合もあるため、身近にあるノコギリ、自動車のジャッキ、パールなどを使用し、建物の倒壊や落下物などの下敷きになった人を地域のみんなが協力し合って救出できるようにしましょう。

総務省消防庁 生活密着情報 「地震などの災害に備えて」をぜひ参考にしてください。
(リンク先) <http://www.fdma.go.jp/html/life/>

地域で行われる防災訓練へは、自分の住んでいる地域の方々と共に「いざという時どうするか」という心構えで参加し、家族みんなで防災について話し合いましょ。

問い合わせ先

消防庁国民保護・防災部防災課 吉岡
TEL: 03-5253-7525

地震に対する日常の備え

総務省消防庁防災課

地震が発生した時、被害を最小限におさえるには、一人ひとりが冷静かつ適切に行動することが重要です。

そのためには、みなさんが地震について関心を持ち、日頃から地震に備え、自分の身の安全確保や非常持出品などについて、家庭で取組をすすめていくことが大切です。

1. 家庭での防災会議

地震の時には、まず自分の身の安全確保を第一に考え、また家族が慌てず落ち着いて行動できるよう、日頃から話し合い、情報を共有しておきましょう。

- 地震はいつ起こるかかわからないことから、時間帯によって誰が在宅しているかなど、家族構成も考慮しながら様々なケースを想定し、次のようなことを話し合っておきましょう。
 - ・住宅の耐震化や家具の転倒防止対策は十分か
 - ・家の中でどこが一番安全か
 - ・非常持出品はどこに置いてあるか
 - ・避難場所、避難路はどこか
- 海岸で強い揺れや弱くても長い揺れに襲われたら、すぐに安全な高台に避難するなど津波避難についても話し合っておきましょう。
- 住所、氏名、連絡先や血液型などの自分の情報を記載した避難カードを作成し、普段から携帯しましょう。
- 役場が発行している防災ハザードマップなどを参考に地域の危険な場所を把握しておきましょう。



2. 家族との連絡方法の確認

家族が離ればなれで被災した時のことを考えて、お互いの安否の確認手段を考えておきましょう。

- 家族が離ればなれで被災した場合、自分の身の安全が確保できたら、次は家族の安否を確認しましょう。
- 被災地では、連絡手段が限られています。公衆電話等から利用できるNTTの「災害用伝言ダイヤル171」や、携帯電話の「災害用伝言板」などの使い方を家族みんなで覚えておきましょう。



3. 備蓄品・非常持出品を備える

地震が発生すると普段どおりの生活ができなくなることも考えられます。数日間生活できるだけの水や食料品などの『備蓄品』を備えておきましょう。

地震の被害によっては、避難を余議なくされることもあります。避難する時に持ち出す『非常持出品』を常備しておきましょう。

- 目安として最低3日間、推奨1週間程度の飲料水や食料品を備蓄しましょう。
- 備蓄品は、家族構成、住居や地域の特性によって必要となるものは異なります。自分や家族にとって本当に必要なものを考えて準備しましょう。
- 備蓄品は、家族、地域の状況や賞味期限などと照らし合わせて定期的にチェックし、必要に応じて入れ替えましょう。
- 非常持出品として、携帯用飲料水、食料品、救急箱、携帯ラジオなど避難生活に必要なものを準備しておきましょう。
- 非常持出品は、玄関や寝室など持ち出しやすいところに置いておき、すぐに持ち出せるようにしておきましょう。リュックサックなどに入れておけば、持ち出したときに両手が使えて便利です。

4. 防災活動への参加

地震に備え、防災訓練などの地域の防災活動に積極的に参加しましょう。

- 地震発生時に、初期消火や救出救助活動を行うには、日頃からの訓練が欠かせません。家族全員で防災訓練に参加しましょう。
- 9月1日は防災の日で、8月30日から9月5日は防災週間となっており、各地で防災訓練等が行われています。市町村によっては、災害などが発生した場合を想定し、参加者が被害状況や対応策について地図に書き込みイメージする「災害図上訓練」が行われているところもありますので、市町村役場などで確認しましょう。
- 地域の防災活動に参加し、日頃から災害時における正しい知識と心構えを身につけ、普段から地域との繋がりがりや協力し合う体制を築いておきましょう。

問い合わせ先

消防庁国民保護・防災部防災課震災対策係
TEL: 03-5253-7525

第63回全国消防技術者会議の開催について

総務省消防庁消防研究センター

消防研究センターでは、「第63回全国消防技術者会議」として、消防研究センターにおける研究成果等を発表する「第19回消防防災研究講演会」および消防関係者による一般発表と平成27年度消防防災科学技術賞受賞者による発表を下記のとおり開催いたします。また、「消防防災科学技術賞」の表彰式および展示発表も行いますので、併せてご案内申し上げます。皆様のご参加をお待ちしております。

記

- 1 開催日 第1日 平成27年11月25日(水)
第2日 平成27年11月26日(木)
- 2 場所 ニッショーホール(日本消防会館)
東京都港区虎ノ門2-9-16
- 3 参加費 無料(募集定員は、両日とも各600人)
- 4 内容 11月25日(水)第19回消防防災研究講演会
(消防研究センター等の研究成果を発表し、聴講された消防関係者や消防防災分野の技術者との意見交換を行います。)
11月26日(木)
(消防関係者による一般発表と平成27年度消防防災科学技術賞表彰作品の発表を行います。)
- 5 プログラム 消防研究センターのホームページ(<http://nrifd.fdma.go.jp/>)をご覧ください(「イベント情報」欄の「【技術】第63回全国消防技術者会議」のリンクをクリック)。逐次詳細なものに更新します。
- 6 参加申込み方法 消防研究センターのホームページから、申込専用サイトにアクセスし、必要事項を入力してください。申込みを取り消す場合又は申込み内容を変更する場合にも、このサイトをご利用ください。
なお、上記の方法が難しい場合は、下記にお問い合わせください。
- 7 参加申込み期間 8月17日(月)から11月16日(月)まで(予定)
(但し、各日定員になり次第締め切ります。)
- 8 問い合わせ先 消防庁消防研究センター研究企画室
〒182-8508 東京都調布市深大寺東町4-35-3
TEL:0422-44-8331 FAX:0422-44-8440
E-mail : 63_gijutsusha@fri.go.jp

第22回全国女性消防操法大会

YOKOHAAMA

記念Tシャツ

販売期限
10月末まで

第22回全国女性消防操法大会が横浜で開催されることを記念して、大会記念Tシャツを作成いたしました。バックプリントは、操法大会の開催地『横浜』をイメージしたデザインとなっております。また、左胸には『女性消防団員の操法イメージ』をマーク化しワンポイントでプリントしています。左袖には操法大会のシンボルマーク、右袖には「ひまわりいるか」を入れ消防をアピールしたデザインにしております。今回しか手に入らない限定品となっておりますので、是非記念としてお買い求め下さい。尚、数量限定ですので品切れの場合はご了承下さい。



BACK

BACK

FRONT

FRONT

ネイビー

オレンジ

DRY!! 優れた吸汗速乾ドライTシャツ

表地

素材には訓練や活動に最適な、速乾性に優れたポリエステル100%のダブルフェイス生地*のドライTシャツを使用しています。

裏地

*表地：フラット、裏地：メッシュ

サイズ表		
サイズ	身幅	着丈
S	49.5	64
M	52.5	67
L	54.5	70
XL	57.5	72

※Tシャツは男女兼用のサイズです。

ウェア詳細	
○カラー	ネイビー/オレンジ
○サイズ	S/M/L/XL
○素材	ポリエステル100%
	表地：フラット
	裏地：メッシュ

ネイビー		オレンジ	
商品番号	商品番号	商品番号	商品番号
S 56154	S 56158	M 56155	M 56159
L 56156	L 56160	L 56156	L 56160
XL 56157	XL 56161	XL 56157	XL 56161

1,500円

(税込)

※ご注文後約3週間でお届けします。

ご注文はホームページで **FIRE RESCUE EMSオフィシャルホームページ**

<http://www.signalos.co.jp>

シグナルOS

検索

今すぐアクセス!!

スマホの方は
こちらから!



TEL. ☎ 0120-607-444 ■受付時間/9:30~17:30 ■休業日/土・日・祝日 FAX. ☎ 0120-238-119 ■FAXでも注文可能。

うちの

名物団員



仙北市消防団 本部 女性団員

福岡 梨佳

日本一の水深を誇る田沢湖がある仙北市からは、本部女性団員 福岡梨佳さんを紹介します。梨佳さんは、地域の祭典「たざわ湖まつり」を盛り上げようと若者が結成した創作和太鼓「龍神太鼓保存会」のメンバーとしても活躍しています。

彼女は、女性団員の中でも小柄でお茶目な方ですが、いざ和太鼓の幕が上がると普段の彼女とは思えないほど、勇壮に力強く太鼓を叩き、同じ保存会メンバーの男性消防団員にもひけをとりません。

また、保存会のメンバーとして県内外でのイベント活動の他、仙北市消防出初め式、昨年は第67回秋田県消防大会でも和太鼓を披露し、仙北市の魅力とともに消防団への加入促進をPRしています。

梨佳さん、これからも新人消防団員の発掘をよろしくお願いしますね。「了解しました」



秋田県

村山市消防団 団本部 副団長

鈴木 慶美



我が消防団の副団長である鈴木さんは、毎年8月に開催されるむらやま徳内まつりにおいて、消防団の有志で結成された「村山まとい連」の頭を務めています。

「村山まとい連」は今年で結成15年目。他の団体にはないポンプ車をモチーフにした山車や、消防ラップと纏を用いたの消防魂溢れる演舞、そして梯子乗りのパフォーマンスは圧巻です。80名を超える踊り手をまとめあげる重要な役割を鈴木さんが担っています。これからお祭りを通して防火意識の向上を呼び掛けるため、「村山まとい連」は踊り続けます！



山形県

仙台市宮城野消防団 高砂分団 団員

八島 傑



鉢巻と法被がよく似合う、階子乗り手の八島団員を紹介いたします。普段は、板金業として忙しく仕事に励んでおりますが、一旦、階子乗り隊の演技出場となると、誰にも負けない消防魂を奮い立たせ気合と誇りに満ちた演技を披露します。

今年3月に仙台市で開催された「国連防災世界会議」でも、多くの外国人や市民が見守る中「火消しの心意気」を披露し、たくさんの拍手をいただきました。

若い乗り手への熱い指導でも定評があり、伝統の階子乗りを未来に伝えるリーダー的存在です。「階子乗りは、下で多くの支え手が、はしごを支えてくれるから、乗り手は演技を行えます。」と、謙虚さと感謝の心を併せ持つ、これからますます活躍が期待される“粋”な団員です！！



宮城県

長尾 伸二



憧れていた「田舎で食べ物を自給する暮らし」を叶えるため、平成7年の31歳を迎えた年に大阪府から豊かな自然に恵まれた福井県池田町に移住する事を決めた長尾団員。早くから有機肥料や無(減)農薬農業に取り組むなど、地域の環境向上や食の安全PR等に貢献し、住民からも期待される存在です。また、転居後消防団に入団し、災害出場はもとより県消防操法大会にも出場するなど、中堅団員として活躍しています。

畑中 喜幸



八尾市は大阪府の中央部東寄りに位置し「河内音頭発祥の地」であり特産は枝豆、若ごぼうです。その特産品を生産する農業を営んでいるのが畑中分団長であり、テレビ取材が訪れるほど注目されている若ごぼうや良質な枝豆は分団長が誇りを持って育てた証です。又、南高安分団48名を率いる分団長は日々の消防活動に対しても誇りを持って取り組んでおり、団員の厚い信頼を集めています。

芝田 早紀子



職業は看護師(助産師)、この春、看護大学を卒業したばかりの社会人一年生。在学当時、東日本大震災の被災地でのボランティア活動で、自分にも何か出来る事が有るんじゃないかと思い、大学があった地域の三里分団に入団。消防団活動はもとより、地域の行事にも積極的に参加し、よく飲める消防団のお姉ちゃんとしてすっかり人気者に。大学の時から防災ボランティアサークルのリーダーとしてを熱心に活動をしており「ぼうさい甲子園大学部門大賞」も受賞しました。今はポンプ操法の選手として練習に汗を流す毎日です。



森崎 るみ



小松島市からは、地元分団の紅一点、森崎団員を紹介します。趣味はサイクリングで、20人ほどのチームに所属し、四国のみならず近畿圏まで足を延ばすほどのめり込んでいます。一番の楽しみは、行った先での美味しいものを食べさせてくれる店探しで、ダイエット目的で始めたサイクリングですが、おなか一杯食べてしまうのが悩みだそうです。

趣味を楽しみながら消防団活動にも積極的に参加して、持ち前の行動力と女性ならではの気配りで団員からの信頼も厚い頼れる存在です。

消防団の広場

大阪府

まちを守る意気込み。伝統を引き継ぐ消防団。

豊能町消防団・ポンプ操法訓練をとおして

豊能町消防団 団長
東浦 正純



豊能町のイメージキャラクター
「とよのん」

豊能町は、大阪府北部の京都府と兵庫県との府県境の間に位置し、管内面積は34.37km²、平成27年4月現在の人口は21,000人余で、町域は西部地域が住宅地、東部地域が山間部、中央部は光明山・天台山によって東西に大きく分かれた町です。消防団は、町内全域を管轄とし、住民の生命、身体、財産の保護に努めています。

豊能町消防団は、町役場職員21名の団本部付機能別消防団員と、203名の基本消防団員を9分団3方面隊に編成し、総員224名が各種の災害活動や訓練に励んでいます。

平成27年9月に開催される第59回大阪府消防操法訓練大会に、豊能地区支部を代表して小型ポンプ操法の部への出場が決定した5月上旬から、週3日の夜間訓練に励んでいます。この操法訓練を通して、消防団活動の基礎を学び、旺盛な奉仕の精神、強固な団結力、迅速な消火技術を養うことを目的としています。

豊能町消防団は、昭和51年の全国消防操法大会に出場し、平成元年の大阪府消防操法大会における優勝以来上位入賞はあるものの、優勝から遠ざかっており、今大会にかける意気込みは非常に強く、豊能町消防団が伝統とする規律を重視した操法指導の

もと、選手の集中力を高め、反復訓練と実践では本番さながらの臨場感の中で訓練を行なっています。

また、全団員が訓練資器材の準備や整備などのサポート役に徹し、選手との強い信頼関係が築かれています。

大阪府消防操法訓練大会まで、あと僅かとなりましたが、大会では好成績が取られるよう、消防団が一丸となり訓練に励んでまいりますので、ご声援の程、よろしくお願いいたします。



平成27年度 全国統一防火標語

「無防備な 心に火災が かくれんぼ」

9月の日本消防協会関係行事

9月2日(水)～6日(日)	CTIF年度総会(クロアチア)
9月9日(水) 午前	全国消防殉職者遺族会理事会
午後	日本消防協会役員会議(正副会長会議)
9月10日(木) 午前	第34回全国消防殉職者慰霊祭
午後	日本消防協会役員会議(理事会)
9月15日(火) 午後	消防育英会理事会
9月17日(木)～18日(金)	平成27年度女性消防団員リーダー会議

編集後記

残暑なお厳しき折柄、皆様にはいかがお過ごしでしょうか。
気が付けば、東京都の研修生活も4ヶ月半が過ぎました。日々の仕事に追われながらも今ではすっかり慣れ、「住めば都」を実感しております。とはいえ、地元大津に帰るとやっぱり大津はいいなあと思いますし、びわ湖を見るとホッと故郷は格別だと感じる瞬間でもあります。

さて、8月はお盆、帰省シーズンであり、全国各地では花火大会、夏祭りといった様々な催しが行われます。

大津市では、例年約30万人以上の人出で賑わう全国有数の「びわ湖大花火大会」が行われ、約1万発の花火が夜空と湖面を鮮やかに彩ります。

このような花火大会はもちろんのこと、様々な行事に必ずと言っていいほど、地域の要である消防団の方々が警備をされておられます。災害だけでなく、地域における行事もしっかりと支えていただいている消防団の皆さまに深く感謝を申し上げます。

まだまだ暑い日が続きますが、くれぐれもご自愛ください。

(M.M)



購読募集

購読を希望される方は、(公財)日本消防協会へお問い合わせください。

※ 年間購読料(送料込) 2,448円

(問合せ先) 総務部企画担当 03-3503-1481

寄稿のお願い

皆さまの消防団活動への取り組み、ご意見などをもとに、より充実した有意義なものにしていきたいと考えておりますので、多数のご寄稿をお待ちしています。

Eメールでも受付しています。

soumu@nissho.or.jp

月刊「日本消防」第六十八巻第八号
平成二十七年八月五日印刷
平成二十七年八月十日発行

編集人 武居 丈二

発行所 (公財)日本消防協会
東京都港区虎ノ門二一九一十六
電話 〇三(303)二四八一(代)

印刷所
千葉市稲毛区山王町二〇二一五
株式会社 白樺写真芸
電話 〇四三(423)一一〇一(代)

消防団員・消防職員の皆様の火災共済

消防団員
消防職員
ならどなたでも
加入できます

まさかの時お役に立ちます。

風水雪害等共済金付

掛金25口、2,500円 (56%以上の焼損)
火災共済金375万円のお支払い

1500倍補償

B型火災共済

消防団
消防本部

毎に皆で加入

キャンペーン期間中B型火災共済に加入しますと、テントを消防団等に配布します。

(加入者100人以上または、掛金10万円以上が対象)

掛金は、5口500円から5口毎、25口2,500円まで選択できます。

落雷の損害
にも対応!!

建物と動産の配分は常に4:1とする契約となります。

お申し込みは、所属の消防団担当から都道府県支部(消防協会)へ。



(三方の横幕も付属します。)

お支払
対象

●火災共済金

火災・落雷・爆発・破裂

●風水雪害等共済金

風災・水災・雪災・車両飛び込み・航空機墜落等

生活協同組合 全日本消防人共済会 TEL 03-3503-1439
詳しくはホームページをご覧ください <http://www.shouboujin.or.jp/>

消防団員・消防職員だからこそ加入できる

消防個人年金

積立金には予定利率(年1.25%) + 配当率が適用されます。

老後生活に向けた
計画的な財産形成
が可能です。

月払の場合、
毎月一万円(ゆうちょ
銀行は五千円)から
ご加入いただけます。

給付金の受取りは、
年金(6種類)又は
一時金からご選択
いただけます。

途中で脱退しても、
積立金(脱退一時金)
が受け取れます。

税制適格コースは
個人年金保険料控除
自由選択コースは
一般の生命保険料控除
の対象となります。

消防団員、消防職員
の退団・退職後も
継続できます。

(お問い合わせ先) 公益財団法人 日本消防協会 年金共済部

0120-658-494

平日 9:00~17:00